

在校生インタビュー

【在校生への質問事項】

- ①なぜ芸総を選んだのか
- ②受験対策に何をしていたか
- ③芸総に入学して感じたこと、実際の印象など
- ④中学生の皆さんへの一言

(Aさん：ピアノ専攻)

- ①常に音楽に触れることができるという環境にとっても魅力を感じました。また音楽が大好きな、同じ年代の仲間と学校生活を送る、ということを考えるだけでワクワクしました。芸術総合高校は受験する高校を調べている時に知ったのですが体験レッスンを受けた帰路には、絶対にこの学校に入学して3年間学んでいきたいと強く感じていました。
- ②公立高校の過去問を何度も解いてどんな問題も確実に解けるようにしました。実技は客観的に自分の演奏を聞くようにして自分で良いところ出来なかったところを具体的に見つけ出して対策しました。
- ③音楽が好きなたくさんの仲間と出会えて毎日がとても充実しています。実技のレッスンはもちろん、音楽理論やソルフェージュの授業もとても面白く、刺激を受けています。
- ④芸術総合高校は本当に素敵な学校です。音楽科だけでなく美術、映像芸術、舞台芸術という芸術を学ぶ友人に出会うこともできて幅広い芸術の世界と触れあうことができます。是非説明会や体験レッスンに積極的に参加して芸術総合高校の魅力を感じてみてください！

(Bさん：声楽専攻)

- ①私は願書提出の2月頭まで、学力が自分に合った普通科に行くか、芸総の音楽科に行くか長く悩んでいましたが、中学校の音楽の先生に薦められたことや、合唱部に入っていたこともあり、もう少し音楽を続けたい、勉強したいと思い芸術総合高校を受検しました。
- ②ひたすら実技検査の練習をする。
- ③最初は、中学校と全く違い、未知の世界に一人であるような感覚だったのですが、1週間ほどですぐに賑やかなクラスになり安心することができました。それでも心配な事は沢山ありましたが、先輩や先生方が丁寧に教えて下さり、今では楽しい高校生活を送れています。
体育祭では、クラスの旗を少人数で試行錯誤して作ったり、出場する種目について同じ委員会の人と話し合ったりして、結果は気にせず、とても楽しく準備をすることができました。
- ④まだ、進路選択に悩んでいる方もいらっしゃるかもしれませんが、もう少し時間もあるのでじっくり考え、決めて欲しいです。すでに芸術総合高校を第一志望にしている方は実技検査や学力検査に向けて練習や勉強を頑張ってください。

(Cさん：打楽器専攻)

- ①中学校の3年間、吹奏楽部で打楽器を担当していて、高校でももっと音楽の腕を磨きたい、知識を身に付けたいと思い芸総を受験しました。
- ②毎日楽器に触れるようにしていました。苦手なところは重点的に、そうではないところは、もっと伸ばすように意識して練習をしていました。また芸総の非常勤の講師の方に、月1回程度レッスンをしていただいていたいました。
- ③とにかく設備が素晴らしいと感じました。楽器が揃っていたり、17のレッスン室、合奏室などの大部屋も多数あり普通高校では味わえない高校生活が送れると思います。

(Dさん：フルート専攻)

- ①幼少期から師事していた先生から勧められたことも大きいですが、技術力の向上や音楽表現の幅を広げることが出来ると思ったので芸総を選びました。
- ②私はフルートを習っていなかったので音楽的表現の指導をピアノの先生からレッスンしていただきました。また、プロの方の演奏を勉強のためによく聴いていました。
- ③イベント等を通して色々な経験ができます。普通科の学校と違い、演奏する場が多いので色々な経験を早くから積むことができたと思います。またプロの方の演奏に触れることも多く、刺激を受けてそこから自分の演奏に生かそうと思えることがありました。
- ④基礎練習に時間をかけることがとても大事だと、この学校に入り思ったので、基礎をしっかりと固めること、そしてその基礎を曲とリンクさせることが大事だと思います。

芸総の思い出（卒業生より）

音楽科の仲間と切磋琢磨しながら過ごした毎日が思い出です。朝、昼休み、放課後と時間があれば常に練習していた友達に刺激を受けながら、なんとかみんなに追いつきたいと一生懸命に過ごした3年間でした。

自分たちで学内コンサートを企画したり、それに向けて練習の予定を立てたりと、演奏会を企画することの大変さを高校時代に学べたことがとても良い経験になったと思っています。

校内に17室あるレッスン室は、始業前やレッスン以外の放課後は開放となります。毎日朝5時半に起き、2時間かけて学校に向かい、始業前に練習に励んだのを覚えています。高校3年次での文化祭では、ソロや伴奏、アンサンブル、更には部活動のミニコンサートなど多く掛け持ちしていた為、一日中休む間も無く校内を駆け回ったのは良い思い出です。

思い出は沢山ありますが、練習の日々こそ一番の思い出です。友人と共に朝早くから学校の坂道を登って練習室を取り、放課後も練習室で下校時刻まで練習…少しでも上達したい一心で毎日練習に明け暮れました。一緒に高められる仲間がいてライバルがいて、そんな環境だからこそ続けられた事だと思います。

お互いの演奏を聴き合ってディスカッションをしたり伴奏を弾いてもらってアンサンブルを感じたりと、一人での練習ばかりではなく、様々な専攻の友と語り合うことは、音楽と真摯に向き合うこと、音楽を楽しむことの大切さを学ぶことができました。

